

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村石 孝子
		全体計画				経費区分		-		内線	246-2104
事務事業名	4276 学校給食センター管理事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費									
	事業	020000 学校給食センター管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
安全でおいしく、ていねいに真心のこもった学校給食を提供するとともに、学校給食をとおして児童生徒の食育推進を図る。						<p>「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進める。</p> <p>また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や食文化などを知る機会とする。</p>					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<p>栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。</p>	<p>栄養のバランスが取れた給食を提供することにより、児童生徒の健康増進や体力の向上を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせることを目標として学校給食を実施した。</p>
平成29年度 実績	平成30年度 予定
<p>「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進めた。</p> <p>また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や食文化などを知る機会となった。</p>	<p>「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進める。</p> <p>また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や食文化などを知る機会とする。</p>
平成31年度 予定	平成32年度 予定
<p>「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進める。</p> <p>また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や食文化などを知る機会とする。</p>	<p>「須坂市学校給食センター食育活動」の目標に沿って学校と連携をはかり、児童生徒への食育を計画的に進める。</p> <p>また地域食材の活用や行事献立等をとおして、地域や食文化などを知る機会とする。</p>

指標名	学校給食県産農産物利用状況調査				
算式	県内産食品数÷全食品数×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	45	45		
	実績	74.1	67.9		
指標選定の理由	学校給食における県内産農産物利用率（全県・食材数ベース） 長野県食育推進計画における達成目標値				
最終年度 目標の根拠	県の食育推進計画による				
指標名	地産地消の推進				
算式	野菜・果物 市内産購入量 (kg) ÷ 全体購入量 (kg) × 100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	16.4	13.2		
	実績	13.2	18.5		
指標選定の理由	市内産農産物を学校給食で出来るだけ多く利用する				
最終年度 目標の根拠	前年度以上を目標としたい				
指標名					
算式					単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		422,755	429,604
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	257,920	261,334
一般財源		164,835	168,270
人員数 (人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.8
	臨時職員	0.9	0.9
人員 コスト	正規職員	3,574.5	3,574.5
	嘱託職員	0.0	2,212.8
	臨時職員	1,061.1	1,061.1
	計	4,635.6	6,848.4
市民一人当たりの経費		8.2	8.3
総額		427,390.6	436,452.4

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	50	衛生管理講習講師謝礼
11節 需用費	296,639	賄材料費 他
13節 委託費	109,411	警備補償委託、配送業務委託、調理業務委託、生ごみ処理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	52	県栄養士部会負担金15千円、廃油用油処理団体負担金36千円
その他	16,603	機器賃借料ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	265	衛生管理講習講師謝礼、食物アレルギー講演会講師謝礼、食物アレルギー対応研究会委員謝礼
11節 需用費	294,676	賄材料費 他
13節 委託費	116,886	警備保障委託、配送業務委託、調理業務等委託、生ごみ処理委託、汚泥処理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	46	県栄養士部会負担金、食物アレルギー研究会参加負担金等
その他	17,731	機器賃借料ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	学校給食法により実施している事業	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	目標に向かい計画的に実施している	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	体制整備をし効率的に事業を実施している	

振り返り（決算年度の取組み課題）

限られた予算で、献立の工夫や食材の調達などできるように、工夫努力をしている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
学校給食センター食育活動の目標に沿って事業を推進している。		学校給食を滞らせないため必要な事業	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	